

みやぎ地域復興支援助成事業「コミュニティで変わる新しい山元創生事業」  
やまもと対話・学びの場づくり@ポラリス（第6回）

## 「伊達ルネッサンス塾」の取り組みから考えてみる対話と学び

### ～人と人とのつながり・人づくりについて～

□日時：2016年2月28日（日）10:00～12:00

□場所：ポラリス

□講師：一般社団法人ふらっと一ほく 代表理事 阿部結悟さん

□参加者 13名

就農リーダー、山元町ファンクラブ、復興支援員、種まき会議スタッフ  
亘理山元まちおこし振興会会員、GRA スタッフ、一般社団法人まなびの森代表  
新地町町づくりリーダー、一般社団法人ふらっと一ほくスタッフ、山元町職員、  
ポラリススタッフ&メンバー

### □内容

- ◎地元で自分達の活動をきちんと話す機会が無かった。今回の勉強会は本当にありがたい。
- ◎伊達ルネは創業支援ではなく、人づくり、人のつながりづくりを大切にしている
- ◎地域の担い手不足は悪化するばかり。燃え尽きる人大勢。・・・それをどうにかしたいため、人材発掘しすそ野を広げたい
- ◎伊達ルネのように広域でやっているところが全国でも珍しいケースで注目されている。
- ◎やまもと広報で法人格のある活動団体をもっと紹介してはどうか。まだまだ町民は知らない。東京では、女川を知っていても、山元町を知らない。山元町の知名度を上げるために、もっと全国に発信しよう。
- ◎山元町には高校がない。卒業すると山元を出てしまう傾向にあるが、もっと郷土愛を高めねば。「住んでいる人がダサイ。」とか。お洒落感を出したり、自慢できるものを持ったり。
- ◎「地元でも安心してやっていけるよ。」という応援を。駅前にまなびの森の拠点を作ろう。
- ◎大河原のほっとあいの事例：「サロン」誰でも来れる場、週1回。10時から15時。コーディネート設置して、運営はボランティア担当。
- ◎「大人のまなびの森」を作ってはどうか。情報リテラシーが低いから。おじいさん、おばあさん、おじちゃん、おばちゃんのIT教育。

### ※山元のこの1年をどうして行きたいか。

- りんご農家の後継者がいない。理由は収益が低く暮らしていけないから。
- JR 開通にイベントを
- 伊達ルネ×まなびの森×・・・
- 町の情報発信を
- 郷土愛を高める何か
- 交流&挑戦が必要